

参考資料

2011年度 業績の概要

2012年5月18日
ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示
(単位:億円)

<連結>

- 連結業務粗利益**

前年度比40億円増加の205億円。
主な増加要因は、銀行単体の業容拡大と、スマートリンクネットワークの子会社化。

- 連結経常利益**

前年度比10億円増加の39億円。

<単体>

- 業務粗利益**

前年度比18億円増加の183億円。
住宅ローンの積み上がりに伴い貸出金利息が増加した一方で、円預金にかかる支払利息が減少し、資金運用収支が増加した。

- 経常利益**

前年度比6億円増加の40億円。
クレジットカード事業参入に伴う人員増強などから営業経費は増加したものの、上述の業務粗利益の拡大により、増益。

	<12ヶ月累計>	2010年度	2011年度	前年度比	
連結	業務粗利益	165	205	+40	+24.5%
	経常利益	29	39	+10	+36.3%
	当期純利益	15	17	+1	+10.4%

(単位:億円)

単体	業務粗利益	164	183	+18	+11.4%
	資金運用収支	132	161	+28	+21.6%
	役務取引等収支	1	1	+3	—
	その他業務収支	33	20	13	39.8%
	営業経費	126	138	+12	+9.6%
	経常利益	33	40	+6	+19.4%
	当期純利益	20	23	+2	+13.9%
業務純益	36	43	+7	+21.2%	

損益の状況(2): 社内管理ベース

< 単体 >

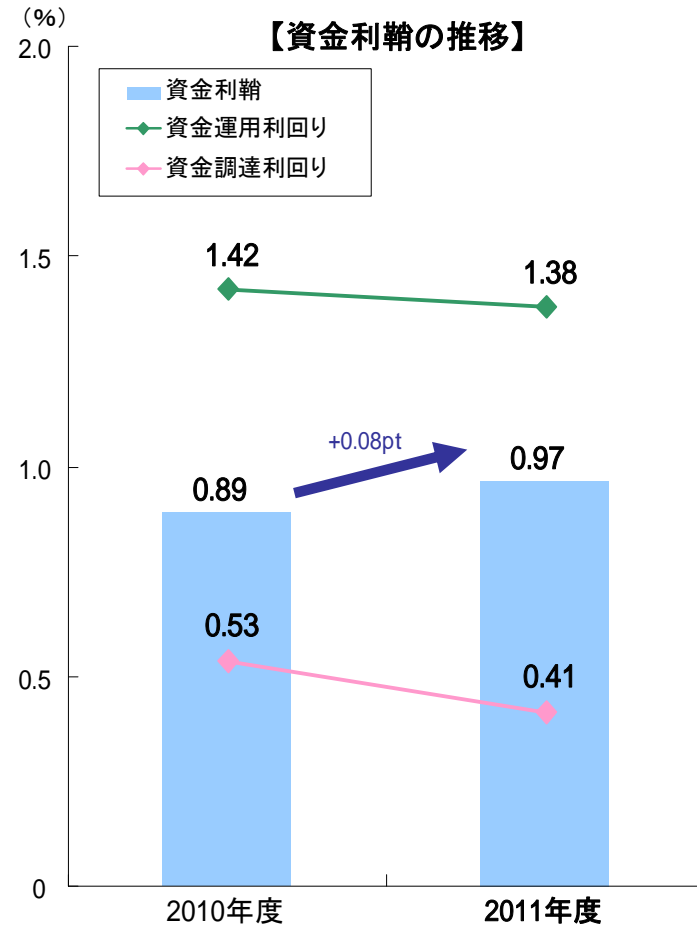
- 業容拡大に伴い資金収支が着実に増加。
- 資金利鞘は、前年度比0.08ポイント改善。

(単位: 億円)

<12ヶ月累計>	2010年度	2011年度	前年度比	
業務粗利益	164	183	+18	+11.5%
資金収支*1	151	177	+26	+17.5%
手数料等収支*2	8	11	+3	+40.8%
その他収支*3	4	6	10	—
コアベース業務粗利益 (A) = ① + ②	159	189	+29	+18.7%
営業経費等③	128	139	+11	+8.6%
コアベース業務純益 = (A) - ③	30	49	+18	+60.9%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支... 資金運用収支 + その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支... 役員取引等収支 + その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支... その他業務収支より*1と*2の調整を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

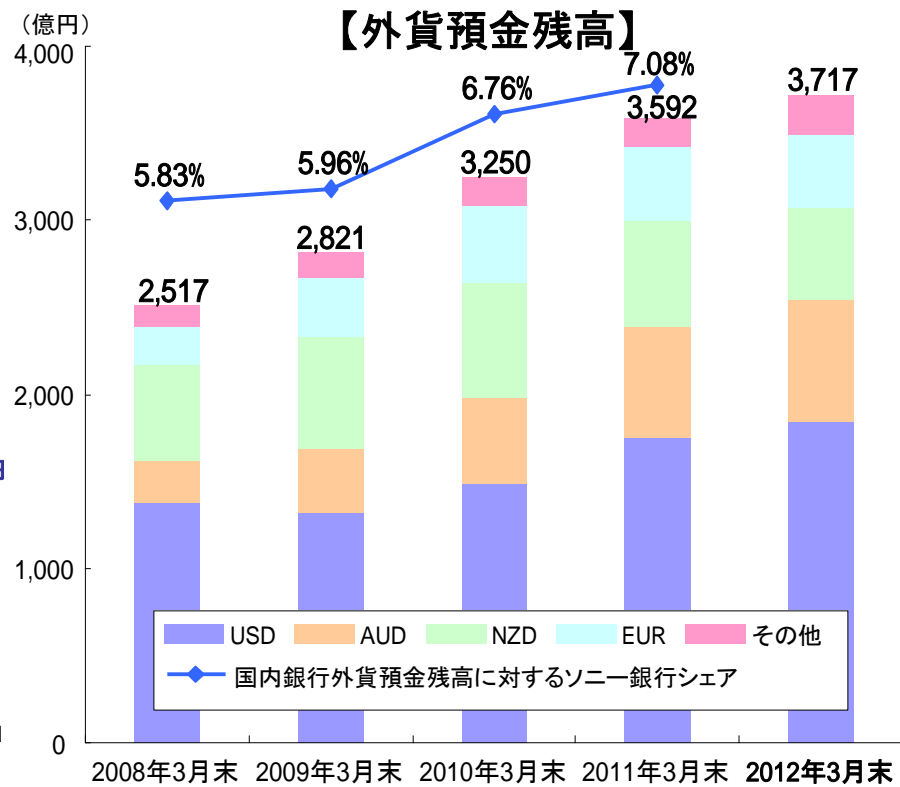
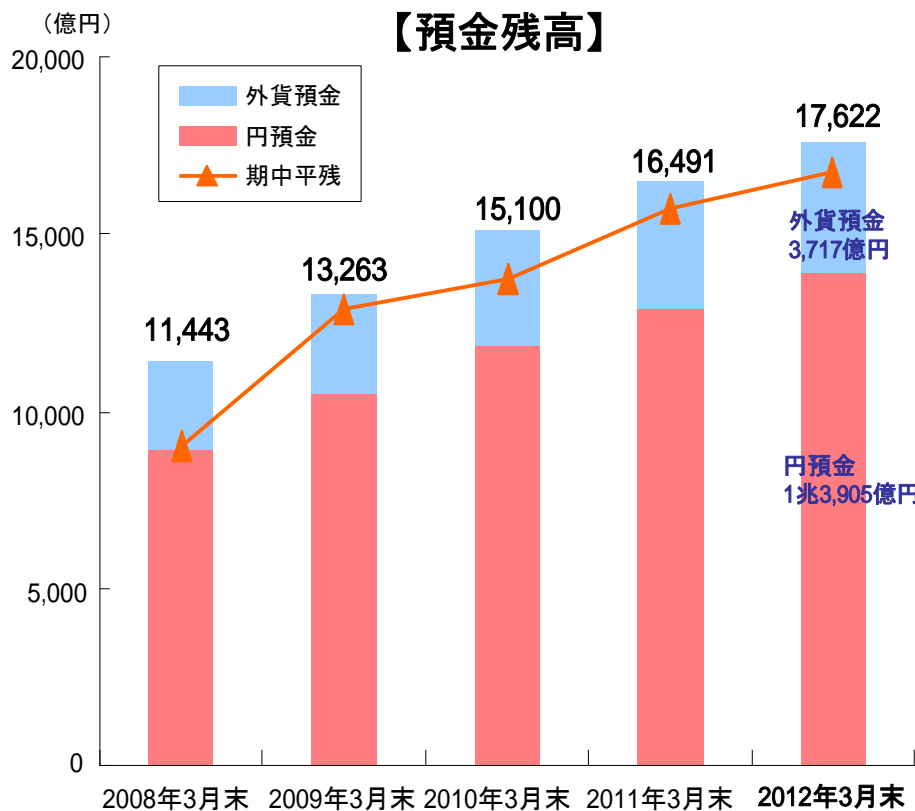


預金の状況

< 単体 >

- 預金は、冬のボーナスシーズン特別企画効果で円預金が増加し、前年度末比1,131億円増加の1兆7,622億円。
- 外貨預金は、同124億円増加の3,717億円。
- 2012年3月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は1兆8,643億円。口座数*は約90万件。

* 長期不稼動口座は含まれていない
金額は億円未満切捨てで表示



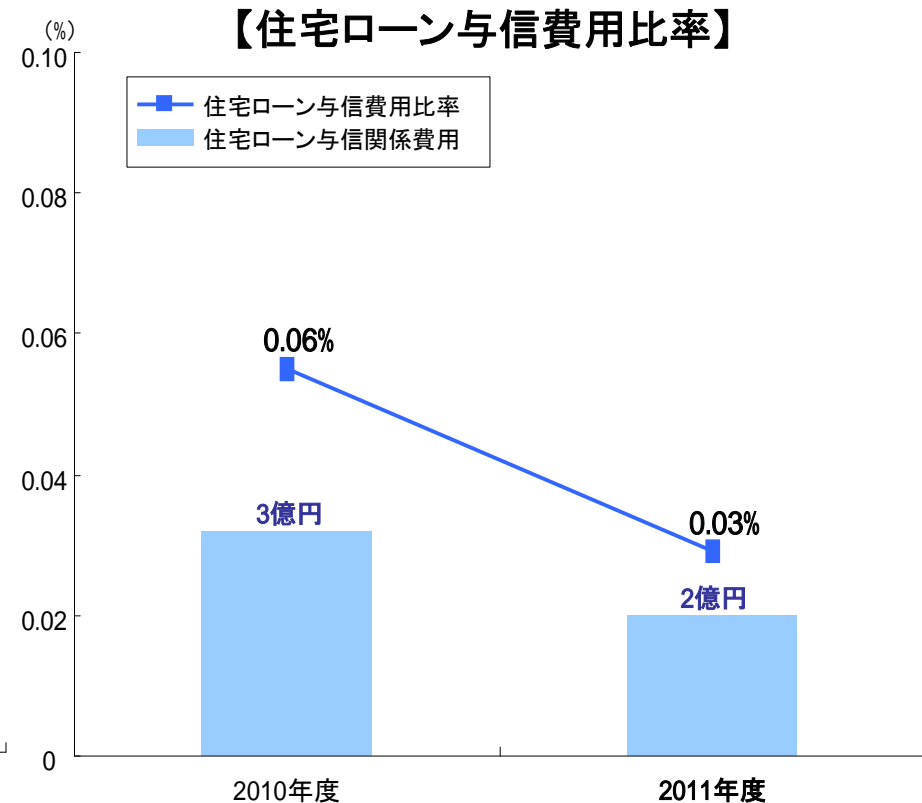
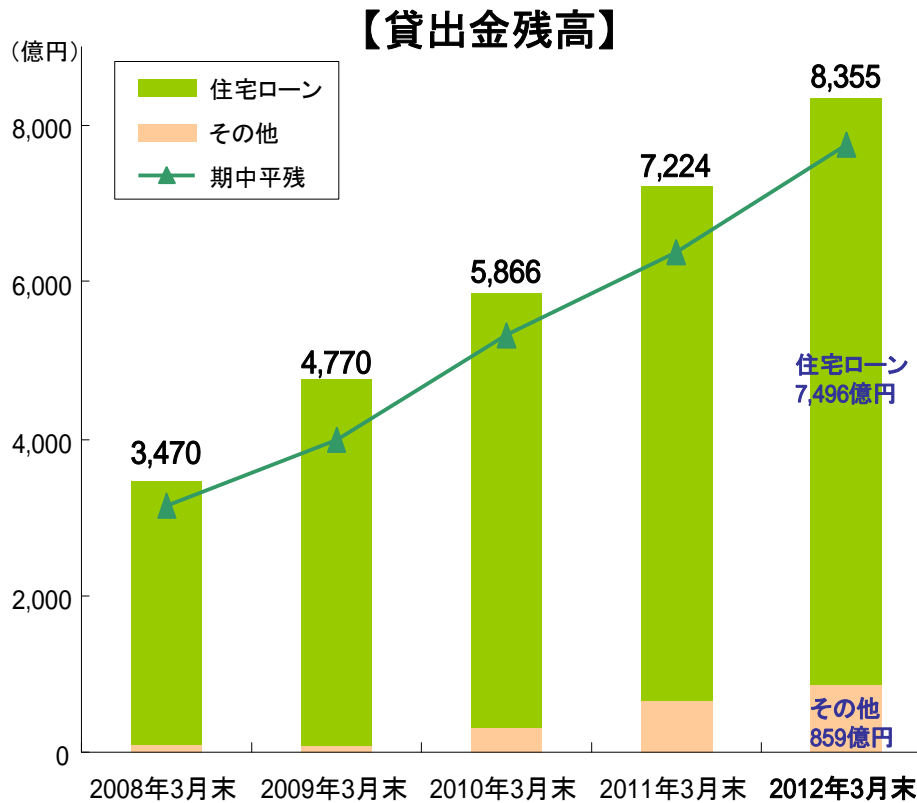
国内銀行外貨預金残高出所: 日銀統計 個人外貨預金末残

貸出金の状況

<単体>

- 貸出金は、新商品を投入した住宅ローンが着実に増加し、前年度末比1,131億円増加の8,355億円。
- 一方で、住宅ローン与信費用比率は前年度比減少。

金額は億円未満切捨てで表示



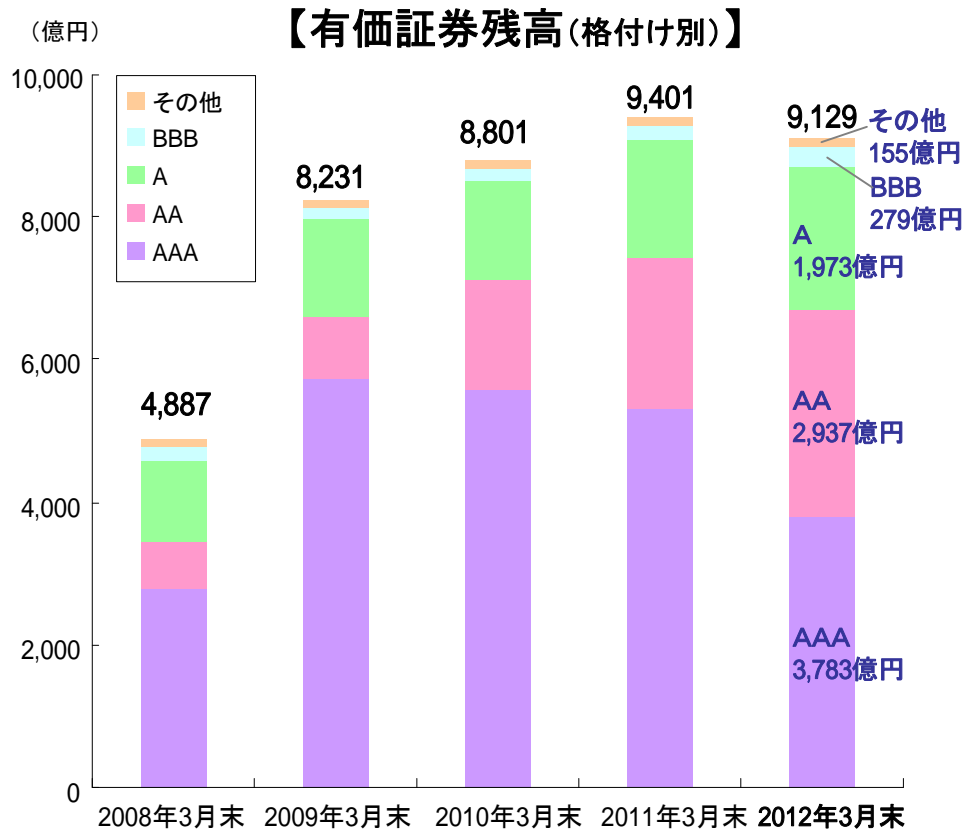
住宅ローン与信費用比率 = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残
 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は26億円。マーケット環境の回復により、前年度末比改善。

金額は億円未満切捨てで表示



【その他有価証券の内訳】 (単位:億円)

	2011年3月末	2012年3月末
債券	5,852	5,079
国債	2,488	1,945
地方債	175	2,91
社債	3,189	2,842
その他	3,342	3,849
外国債券	3,257	3,764
その他の証券	85	85
合計	9,195	8,929
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 5 >	< 26 >

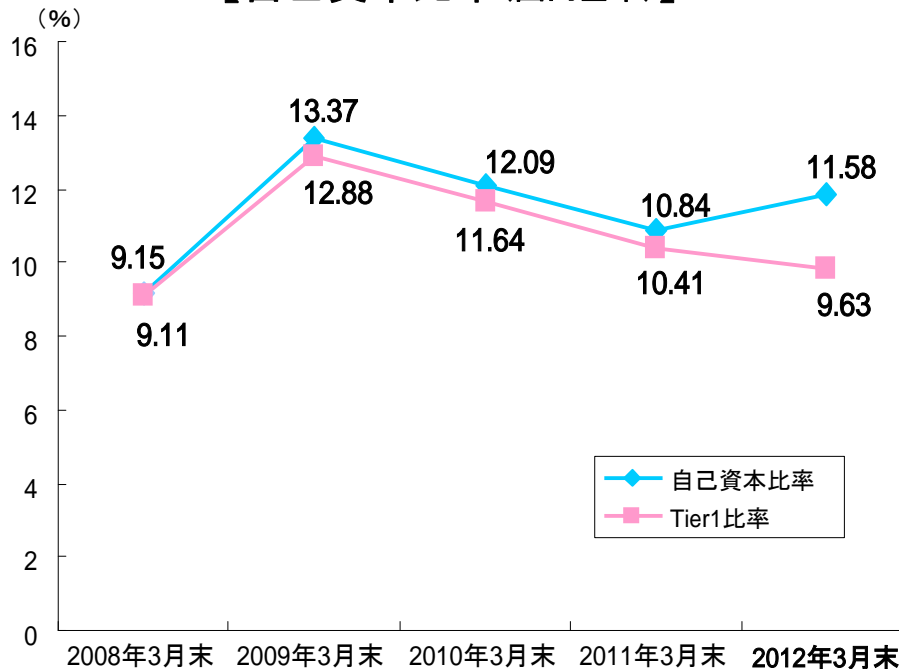
時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳

自己資本比率・格付け情報

<単体>

- 自己資本比率は11.58%と、健全な水準を維持。
- 2011年10月にソニーフィナンシャルホールディングスより劣後調達を実施。

【自己資本比率(国内基準)】



【格付け(2012年3月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティー格付け「A」	
アウトルック「ネガティブ」	
短期カウンターパーティー格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期優先債務格付け「AA-」	
見通し「安定的」	

平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。なお、平成21年3月期より、平成20年金融庁告示第79号を適用している。

営業経費の内訳・預金経費率の推移

<単体>

- 営業経費は、クレジットカード事業本格参入に伴う人員増強などにより、前年度比12億円増加。
- 預金経費率は、地方銀行平均に比べ低い水準を維持。

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

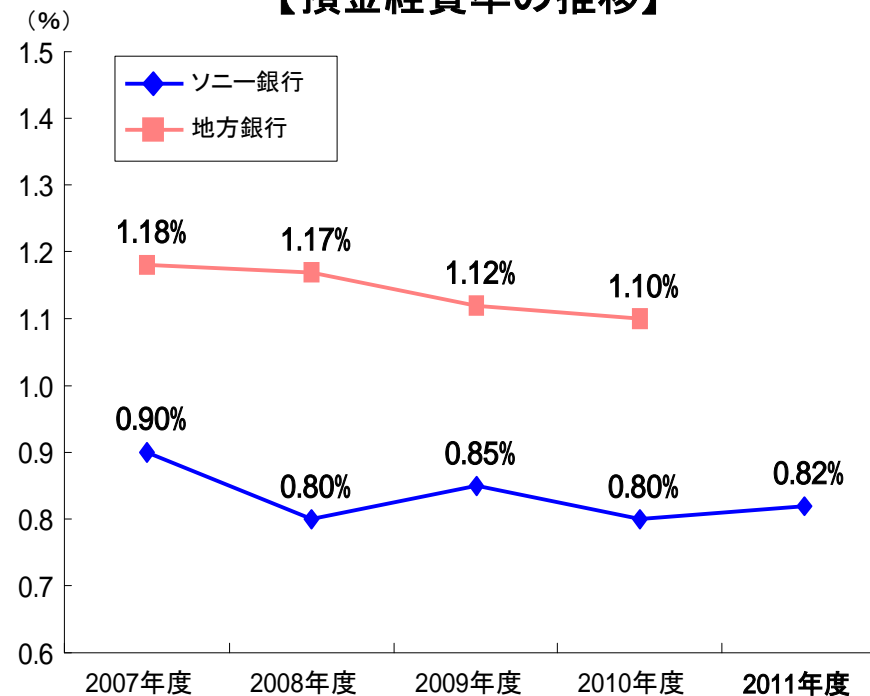
【営業経費の内訳】

(単位:億円) (%)

	2010年度	2011年度	前年度比	
営業経費	126	138	+12	+9.6%
システム関連費用	48	48	0.1	0.3%
人件費	27	31	+3	+14.0%
広告宣伝費	7	8	+1	+15.2%

システム関連費用は減価償却費、保守管理料など

【預金経費率の推移】



預金経費率・・・営業経費を預金等の期中平残で割った比率

出所: 全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」

開業10周年を迎えた2011年度の主なサービス拡充施策

●外貨サービス:お客さまの分散投資をサポート

- ・外貨預金の取り扱い通貨に**ブラジルリアル**を追加(2011年5月)
- ・投資信託においても、**ブラジル**に投資するファンドを**ラインアップ**に追加(2011年8月)

●住宅ローンサービス:お客さまの多様なニーズに対応

- ・金利プランとの併用でより低い変動金利で借り入れ可能な「**変動セレクト住宅ローン**」を開始(2011年8月)
- ・従来比、引受範囲を拡大した「**団体信用生命保険(ワイド団信)**」導入(2011年4月)

●新規ビジネス:決済機能などの強化

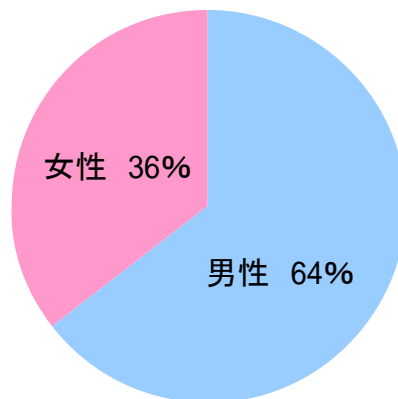
- ・**クレジットカード事業**に本格参入(2011年5月)
- ・クレジットカード決済業務を運営する**(株)スマートリンクネットワーク**を子会社化(2011年7月)
- ・オーストラリア市場の調査を行うため**シドニー駐在員事務所**設置(2011年8月)

《ご参考》お客さまプロフィール(2012年3月末)

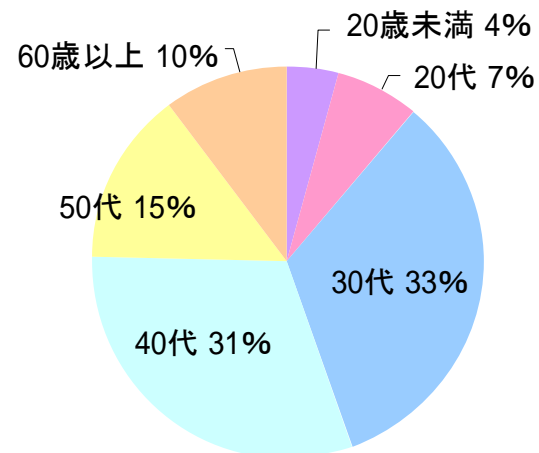
- 主なお客さまは、東京・大阪・名古屋の大都市圏を中心とした、30代～50代のビジネスパーソン。

割合は四捨五入で表示

【性別比】



【年代構成】



【地域分布】

